



平成27年4月20日（月）

国土交通省
東日本高速道路株式会社

— 記者発表資料 —



けん おう どう

圏央道

く き しら おか ジャンクション

久喜白岡JCT

さかい こ が インターチェンジ

～境古河IC間

＜開通1週間後の速報＞新たに開通した圏央道の交通量をお知らせします。

～つながる。まわる。圏央道。～ 国際競争力と成長を支える道路

- 平成27年3月29日に開通した圏央道（久喜白岡JCT～境古河IC間）の交通量※1は、約5,300台/日※2です。
- 先行して開通していた隣接区間の圏央道（白岡菖蒲IC～久喜白岡JCT間）は、開通区間が伸びたことで9,200台/日となり、利用台数が2,400台/日増えています。
- 3環状道路は、今年に入り、中央環状線品川線、圏央道（寒川北IC～海老名JCT間）等が順次開通してきており、今後も、圏央道（神崎IC～大栄JCT間）、（桶川北本IC～白岡菖蒲IC間）等の開通が予定されています。
- 東北道や国道16号の交通量の変化は、まだ限定的ですが、今後、圏央道が利用されることで、渋滞緩和や地域経済の活性化等の効果が期待されます。

【圏央道 久喜白岡JCT～境古河IC間の開通後1週間の交通量】

日付	日別交通量			備考	天候※3
	久喜白岡JCT～ 幸手IC間	幸手IC～ 五霞IC間	五霞IC～ 境古河IC間		
3月29日(日)	4,300台	4,100台	3,300台	15時開通（9時間交通量）	晴後曇
3月30日(月)	5,600台	4,600台	3,100台	24時間交通量	晴
3月31日(火)	5,000台	4,100台	2,500台		快晴
4月1日(水)	4,900台	3,900台	2,300台		曇一時雨
4月2日(木)	5,500台	4,400台	2,500台		晴
4月3日(金)	5,300台	4,200台	2,200台		曇
4月4日(土)	5,900台	4,800台	2,800台		雨後曇
4月5日(日)	5,200台	4,300台	2,700台		雨時々曇
4月6日(月)	4,700台	3,700台	1,900台		晴後曇

※1 平成27年3月30日（月）～4月5日（日）の日交通量の平均値

※2 久喜白岡JCT～幸手IC間

※3 天候は熊谷市の昼の天気概況を記載（気象庁ホームページより）

◇ 開通による主な効果 ◇

圏央道の整備により、東北道や常磐道などの放射方向の高速道路を結ぶ道路ネットワークが形成されます。広域的な人・物の交流により民需が拡大し、地域経済の好循環が生まれます。

効果① 開通直後の交通状況

● 圏央道の開通後の日交通量は、平均2,600～5,300台/日。

圏央道（久喜白岡JCT～幸手IC間）：5,300台/日

圏央道（幸手IC～五霞IC間）：4,300台/日

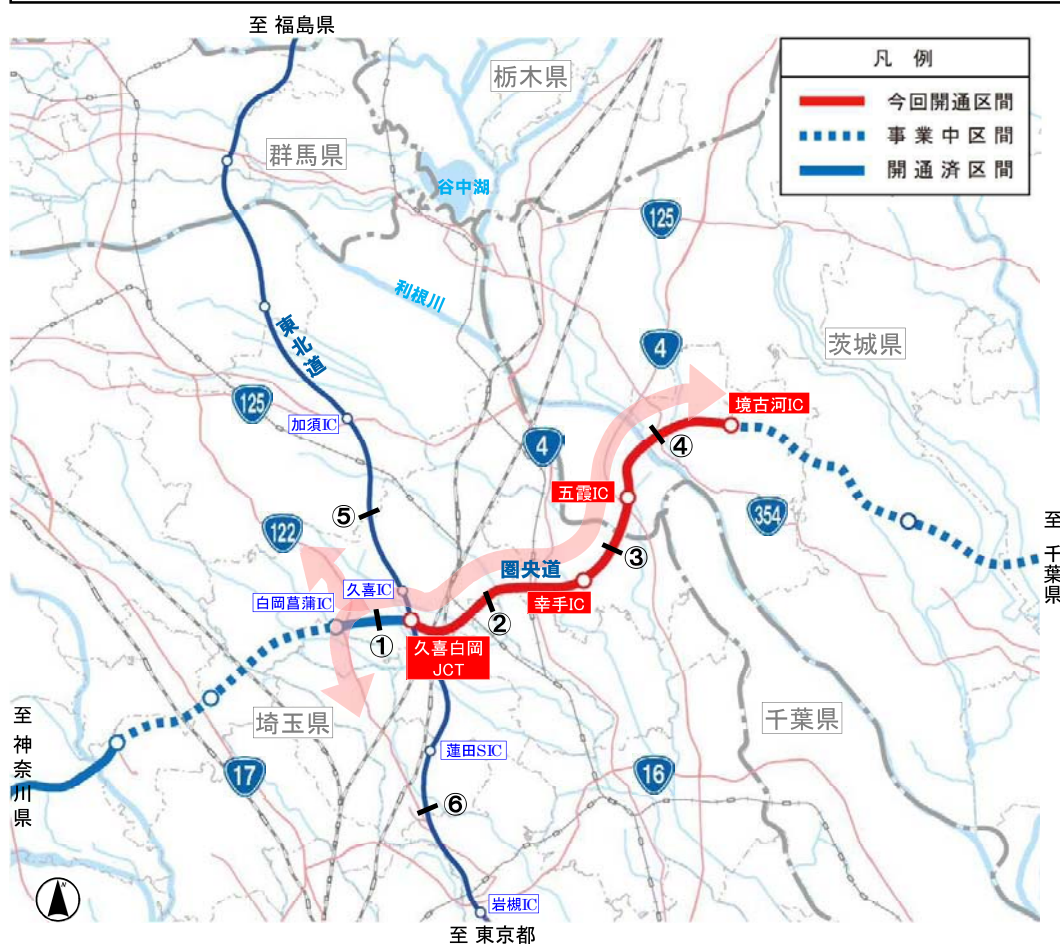
圏央道（五霞IC～境古河IC間）：2,600台/日

● これまで開通していた白岡菖蒲IC～久喜白岡JCT間の交通量は、対前年同週比較で増加。東北道は対前年同週比較で大きな変化なし。

圏央道（白岡菖蒲IC～久喜白岡JCT間）：6,800台/日→9,200台/日[35%増]

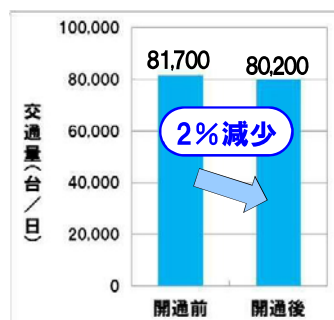
東北道（久喜IC～加須IC間）：81,700台/日→80,200台/日[2%減]

東北道（岩槻IC～蓮田SIC間）：92,800台/日→92,000台/日[変化なし]

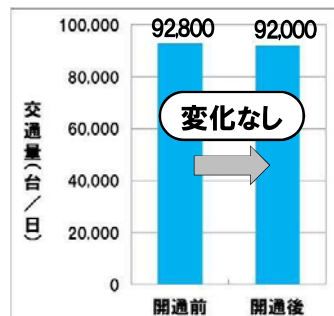


東北道(⑤, ⑥)

⑤久喜IC～加須IC(圏央道外側)

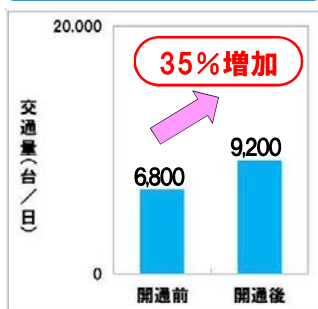


⑥岩槻IC～蓮田SIC(圏央道内側)

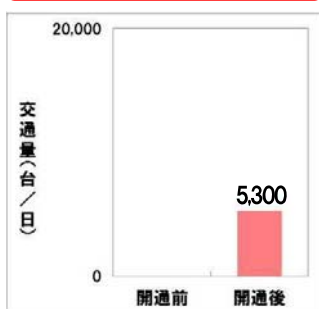


圏央道(①, ②, ③, ④)

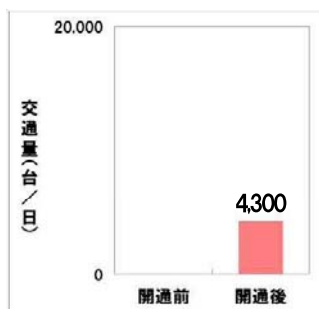
①白岡菖蒲IC～久喜白岡JCT (東北道以西)



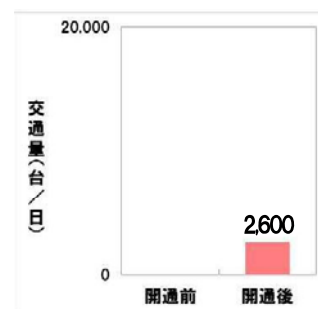
②久喜白岡JCT～幸手IC (東北道以东)



③幸手IC～五霞IC (東北道以东)



④五霞IC～境古河IC (東北道以东)



出典) NEXCOデータ

開通前：平成26年3月31日(月)～4月6日(日)の日交通量の平均値
開通後：平成27年3月30日(月)～4月5日(日)の日交通量の平均値

効果① 開通直後の交通状況

- 開通区間(五霞IC)にアクセスする国道4号春日部古河バイパス(新4号バイパス)が4車線で開通しており、交通量が増加。

新4号バイパス(新利根川橋断面)：32,900台/日→36,900台/日[12%増]

新4号バイパス(五霞IC南断面)：20,600台/日→25,800台/日[25%増]

- 開通区間に隣接・並行する県道結城野田線(境大橋)では交通量が減少しており、開通区間等への転換が図られている。

県道結城野田線(境大橋断面)：23,400台/日→22,100台/日[6%減]

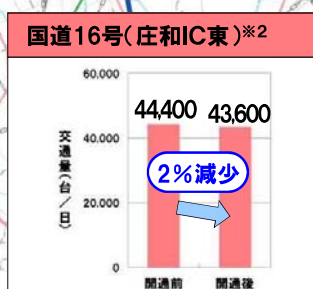
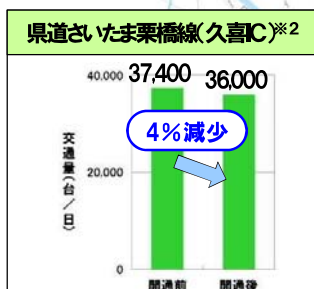
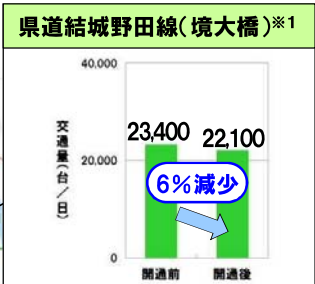
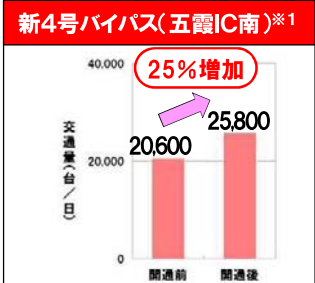
- その他の隣接・並行道路はわずかに減少。

国道125号(高柳東断面)：18,500台/日→18,100台/日[2%減]

県道さいたま栗橋線(久喜IC断面)：37,400台/日→36,000台/日[4%減]

国道16号(庄和IC東断面)：44,400台/日→43,600台/日[2%減]

国道4号春日部古河バイパス(塚崎交差点付近)の交通状況の変化



県道結城野田線(境大橋)の交通状況



※1 出典 国土交通省データ(交通量調査)

開通前：平成26年11月19日(水)7時～翌7時の日交通量
開通後：平成27年 4月 6日(月)7時～翌7時の日交通量

※2 出典 埼玉県警トラカンデータ

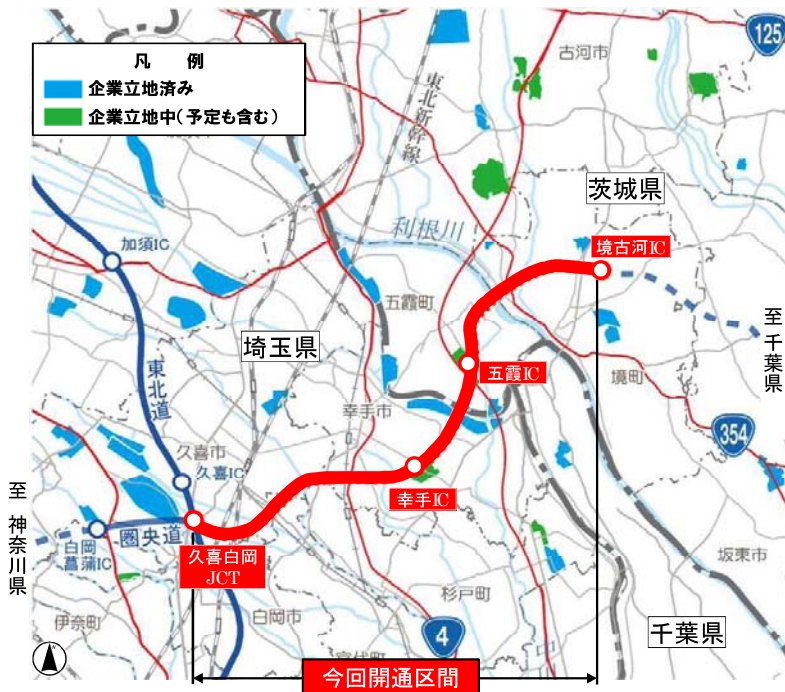
開通前：平成27年3月22日(日)～ 3月28日(土)の日交通量の平均値
開通後：平成27年3月30日(月)～ 4月 5日(日)の日交通量の平均値

効果② 国際競争力と成長 ～民需の拡大～

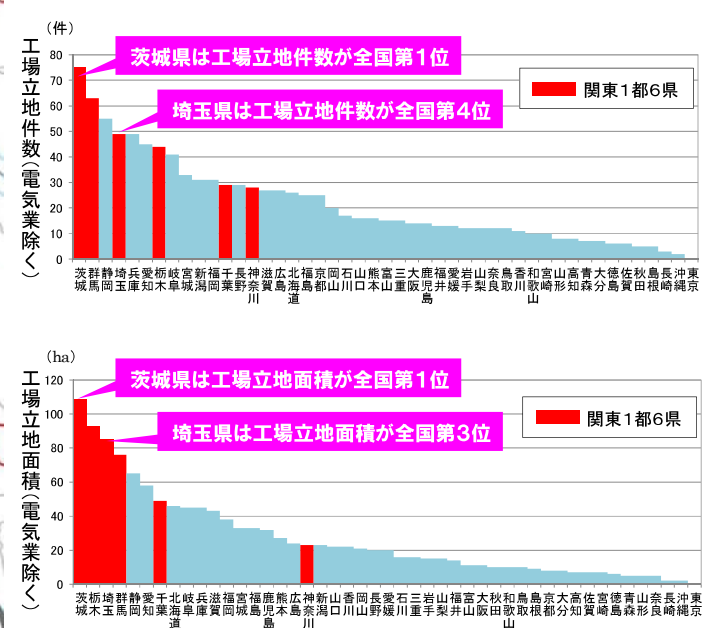
- 平成26年の工場立地件数及び面積は茨城県が全国第1位。今回開通区間においても沿線に物流施設や工場が立地するなど、民間の投資が喚起されています。
- 沿線に立地する企業の方に、移動時間の短縮を実感頂いています。
- 業務効率の向上、市場への運搬回数の増加などに期待していますとの声を頂いています。

物流施設や工場の立地等、民間の投資を喚起

【開通区間周辺における工業団地等への企業立地状況】



【都道府県別の工場立地件数及び面積(平成26年)】



出典) 工業団地等の位置: 埼玉県工場適地図(平成26年度版)、茨城県圏央道産業コンプレックス基本計画H25.4)、
 圏央道沿線ナビホームページの産業情報をもとに作成。
 工業団地等の区分: 沿線自治体のホームページ及びヒアリング結果をもとに作成。(平成27年2月4日時点)

出典) 工場立地動向調査(経済産業省)
 「平成26年(1月～12月期)における工場立地動向調査について(速報)」

沿線に立地する企業の声

【物流企業の声(茨城県内)】

- 圏央道が開通するまでは、久喜と古河の営業所間の移動時間は約60分程度かかっていましたが、20分以上短縮されました。
- ドライバーの拘束時間も削減し、業務効率も向上・改善されると思います。



出典) 平成27年4月7日 ヒアリング調査(北首都国道事務所調べ)

【JA茨城むつみ関係者の声】

- 東北道経由で都内の市場(築地、大田等)に行く場合、久喜ICまで約40分かかっていましたが、圏央道の開通により、久喜白岡JCTまで約20分で行けるようになりました。
- 今後の開通により、都心を通り越さず神奈川の市場(横浜、平塚)への運搬も可能になるため、運搬回数の増加なども期待できます。



出典) 平成27年4月8日 ヒアリング調査(北首都国道事務所調べ)

効果③ 地域経済の好循環 ～観光交流の実現～

- 圏央道の開通により、地域間の移動時間の短縮を実感頂いています。また、沿線観光地では、来園客が増加しているとの声を頂いています。
- 次々とつながる圏央道の整備により、遠方からの観光客増加などに期待していますとの声を頂いています。

観光・レジャー施設等への移動性が向上

一般利用者の声

出典) 平成27年3月30日 道の駅「ごか」でのヒアリング調査
(北首都国道事務所調べ)

※区間の開通時期については、土地収用法に基づく
手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合



・五霞から都心へ1時間で行けるし、近場だけでなく、高尾山などにも行きやすくなったと思う。



・白岡から実家がある五霞まで一般道で1時間はかかっていたが、15分位で五霞に行くことができた。

至 神奈川



(さいたま市
岩槻区在住)

・関宿城が好きでちょくちょく写真を撮りに来ていますが、開通のおかげで来やすくなりました。

至 東京都

今回開通区間

H27年度開通予定※

境古河IC

茨城県

関宿城博物館

撮影: 平成27年3月31日(火)

幸手桜まつり(県営権現堂公園)

撮影: 平成27年3月31日(火)

観光に関する主な反応等

○ 圏央道の利用により、広範囲からの来園者を期待！



- ・幸手桜まつりの来園数は、例年の土日は約7～8万人でしたが、**今年は土日で約11万人に増加**しています。特に、駐車場を利用している車両のナンバーより、**栃木県や茨城県から来園客が増加している**と思います。
- ・権現堂公園の管理の充実やPR活動により、さらに**広範囲のお客様が圏央道を利用して来園されることを期待**しています。出典) 平成27年4月7日 権現堂公園管理事務所ヒアリング調査(北首都国道事務所調べ)

○ 圏央道の開通により、圏央道を利用したツアールートを検討！



- ・上尾や所沢から幸手桜まつり(権現堂公園)に行くバスツアーでは、来年は**時間短縮、定時性が期待できる圏央道を利用**する予定です。

出典) 平成27年4月8日 旅行会社ヒアリング調査(北首都国道事務所調べ)

圏央道開通区間概要

- 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、首都圏の道路交通の円滑化・環境改善、沿線都市間の連絡強化等を目的とした都心から半径およそ40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの環状の自動車専用道路です。今回開通区間を含めて、現在までに約220kmが開通しています。

● 今回開通区間の概要

路線名：国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）

開通区間：久喜白岡JCT(埼玉県久喜市下早見)^{くき しもはやみ}～境古河IC(茨城県猿島郡境町西泉田)^{さしま ぐん さかいまち にしいずみだ}

開通日時：平成27年3月29日（日）15時

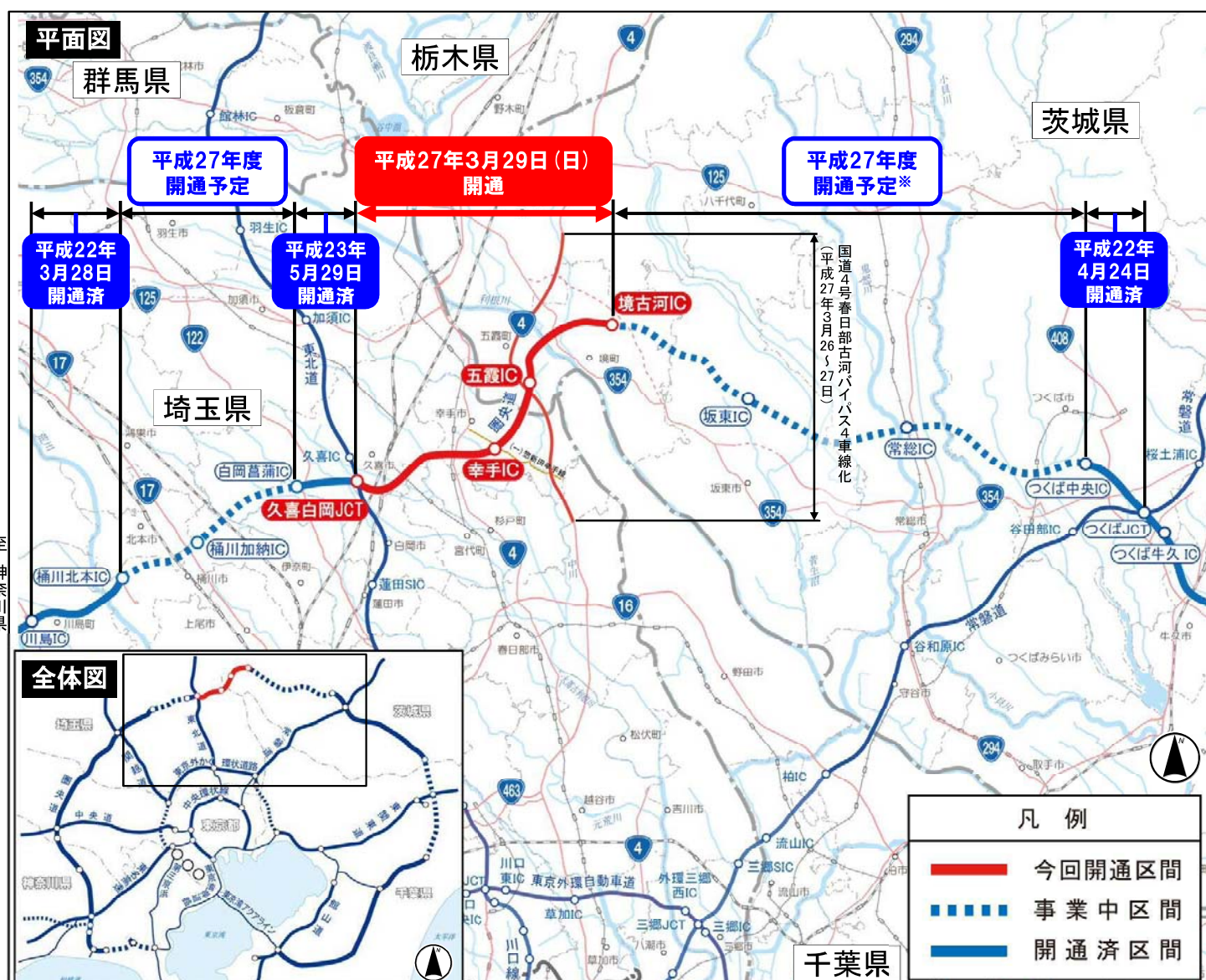
延長：19.6km

車線数：暫定2車線

開通IC：幸手IC、五霞IC、境古河IC

アクセス道路：(一)惣新田幸手線、新4号バイパス、国道354号バイパス

■ 今回開通区間の位置図



※土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合